

技術提案の改善に係る過程の概要

応募者番号	JFEエンジニアリング・須山建設特定建設工事共同企業体
-------	-----------------------------

指摘No.	資料名	改善依頼事項	改善状況
-		修正後の提案書とは別に抜粋資料として今回変更箇所を赤枠及び改善通知書指摘Noを示し提出すること。	改善実施を確認
1	見積書	①設計費の内訳の内、土木工事(3)、建築工事(4)の記載が工事費に含むとされているが金額を記載し同額を工事費から減額すること。	改善実施を確認
2	見積書	②金額算出に際し、内訳書を土木、建築、機械、電気的全工種に対して、してそれぞれ添付すること。	改善実施を確認
3	見積書	③使用する労務単価について、最新の「令和5年3月から適用する静岡県建設資材等価格表(業務委託等技術者)」を使用すること。	改善実施を確認
4	見積書	④計算結果の端数処理について下水道用設計積算要領の計算例を参考に、端数処理を再確認し、必要に応じて修正すること。	改善実施を確認
5	見積書	①様式4-1-1設計価格内訳書に、設計費の合計は記載があるが、その内訳に金額が算出されていないため記載すること。 標準歩掛表の「業務委託料の構成」に合わせて記載することとし、様式4-1-1にある技術経費を間接原価に、諸経費を一般管理費等に読み替えて記載すること。	改善実施を確認
6	見積書	②各工種ごとに下水道用設計標準歩掛表第3巻(IV)ポンプ場・終末処理場改築実施設計業務に準じて基本設計と詳細設計を算出すること。	改善実施を確認
7	見積書	③a)土木設計、b)建築設計、c)機械設計、d)電気設計の工種ごとに算定してそれぞれ記載し、各工種の設計費計を様式4-1に記載すること。	改善実施を確認
8	見積書	④設計協議については打ち合わせごとに主任技術者を各工種ごと0.25人ずつ積み上げるものとし、技師(A)、技師(B)については必要人数を計上すること。現地調査についても同様の取り扱いとする。	改善実施を確認
9	見積書	⑤最新の西遠浄化センター容量計算書を送付するので確認すること。(要求水準書P6の施設概要 表1-3 施設概要は、差し替える。) 設計水量による補正のiii対象設備全体容量について180t/日+120t/日=300t/日に修正すること。	改善実施を確認
10	見積書	⑥照査の度合率について、端数処理は、小数2桁、第3位を四捨五入で計算すること。	改善実施を確認
11	見積書	①率計算にて算出している項目については、摘要欄に計算式を記載すること。	改善実施を確認
12	見積書	②運搬工の記載があるが、標準歩掛表に運搬工の費目はない。共通仮設費の運搬費の積み上げ積算分なのではないか。標準歩掛に準拠した費目に改めること。	改善実施を確認
13	見積書	③法定福利費については、率計算に含まれているため、個別に費目として計上しないこと。計上先の費目の摘要欄に金額を記載のこと。	改善実施を確認
14	見積書	①工事設計書に空欄があることから、必要な内容を追記し工事設計書(内訳書、明細書)を完成させること。	改善実施を確認
15	見積書	②率計算にて算出している項目については、摘要欄に計算式を記載すること。	改善実施を確認
16	見積書	③「要求水準書、第4章工事現場発生品および副産物、3」において「処分し得られたスクラップ費は、実績値をもって工事設計書に計上し、設計変更にて清算すること」と記載があるため、スクラップの計上先が機械工事である場合には、費目を一般管理費等の外に作成し、0計上すること。	改善実施を確認
17	見積書	④法定福利費について、計上先の費目の摘要欄に金額を記載のこと。	改善実施を確認
18	見積書	①機器費の設備分類(工種欄)に、排気設備、排水設備、ユーティリティー設備の項目を新たに設け、該当する機器費を他設備から移動させること。	改善実施を確認

技術提案の改善に係る過程の概要

応募者番号	JFEエンジニアリング・須山建設特定建設工事共同企業体
-------	-----------------------------

指摘No.	資料名	改善依頼事項	改善状況
19	見積書	②率計算にて算出している項目については、別途経費計算書を作成し計算式を記載するとともに添付すること。なお、経費計算書と設計書との間に乖離が生じた場合については修正するものとし、率計算が不適当なものについては、内訳書を別途添付し必要に応じて設計書の金額を修正すること。	改善実施を確認
20	見積書	③水道光熱電力量の算出に使用する料金について、以下の単価を用いること。 水道従量料金:139円70銭/m ³ (浜松市ホームページ更新日:2022年1月27日より、使用水量:20超～30m ³ まで) 下水道従量料金:151円80銭/m ³ (浜松市ホームページ更新日:2022年1月27日より、使用水量:20超～30m ³ まで) 水道基本料金:660円/月(浜松市ホームページ更新日:2022年1月27日より、メーター口径13mm) 下水道基本料金:1,221円/月(浜松市ホームページ更新日:2022年1月27日より) 電気料金:夏季:17円9銭/kWh、その他季:15円54銭/kWh(中部電力ミライズホームページ2023年4月より) 電力基本料金:1,178円74銭/ひと月1kWにつき(中部電力ミライズホームページ2023年4月より)	改善実施を確認
21	見積書	④法定福利費については、率計算に含まれているため、個別に費目として計上しないこと。計上先の費目の摘要欄に金額を記載すること。	改善実施を確認
22	見積書	欠番	改善実施を確認
23	見積書	⑥C-2複合工費計の値を確認し、必要に応じて修正すること。	改善実施を確認
24	見積書	⑦C-4明細書がないが、欠番ではないか。欠番である場合には、続く明細番号詰めて修正すること。	改善実施を確認
25	見積書	⑧労務人工計上値は、有効桁数3桁とし、次の位および小数点以下は切り捨てること。	改善実施を確認
26	見積書	⑨C-5大口径鋼管-ダクト配管(6/7)構成溶接式管フランジ800A、1100Aの単価、金額の記載がないので確認し、必要に応じて修正すること。	改善実施を確認
27	見積書	⑩C-5小配管弁類-弁・伸縮管(10/16)の小計金額を確認し、必要に応じて修正すること。	改善実施を確認
28	見積書	⑪C-5小配管弁類-弁・伸縮管(11/16)の小計金額を確認し、必要に応じて修正すること。	改善実施を確認
29	見積書	⑫「要求水準書、第4章工事現場発生品および副産物、3」において「処分に得られたスクラップ費は、実績値をもって工事設計書に計上し、設計変更にて清算すること」と記載があるため、スクラップの計上先が機械工事である場合には、費目を一般管理費等の外に作成し、0計上すること。	改善実施を確認
30	見積書	①率計算にて算出している項目については、別途経費計算書を作成し計算式を記載するとともに添付すること。なお、経費計算書と設計書との間に乖離が生じた場合については修正するものとし、率計算が不適当なものについては、内訳書を別途添付し必要に応じて設計書の金額を修正すること。	改善実施を確認
31	見積書	②水道光熱電力量の算出に使用する料金について、以下の単価を用いること。 水道従量料金:139円70銭/m ³ (浜松市ホームページ更新日:2022年1月27日より、使用水量:20超～30m ³ まで) 下水道従量料金:151円80銭/m ³ (浜松市ホームページ更新日:2022年1月27日より、使用水量:20超～30m ³ まで) 水道基本料金:660円/月(浜松市ホームページ更新日:2022年1月27日より、メーター口径13mm) 下水道基本料金:1,221円/月(浜松市ホームページ更新日:2022年1月27日より) 電気料金:夏季:17円9銭/kWh、その他季:15円54銭/kWh(中部電力ミライズホームページ2023年4月より) 電力基本料金:1,178円74銭/ひと月1kWにつき(中部電力ミライズホームページ2023年4月より)	改善実施を確認
32	見積書	③法定福利費については、率計算に含まれているため、個別に費目として計上しないこと。計上先の費目の摘要欄に金額を記載のこと。	改善実施を確認
33	見積書	④D-2輸送費 易損品扱いを全重量の3割程度の記載が摘要欄にあるが根拠を示すこと。根拠がない場合については過払いとならないよう留意の上積算すること。	改善実施を確認

技術提案の改善に係る過程の概要

応募者番号	JFEエンジニアリング・須山建設特定建設工事共同企業体
-------	-----------------------------

指摘No.	資料名	改善依頼事項	改善状況
34	見積書	⑤D-7一般労務費「下水道用設計標準歩掛表 令和4年度 第2巻ポンプ場・処理場」の「ポンプ場・処理場施設(電気設備)編、Ⅲ設計歩掛表、第1編一般事項、3摘要上の留意事項、3-3端数処理(2)」より、労務人工計上値は、有効3桁とし、次の位及び小数点以下は切り捨てること。	改善実施を確認
35	見積書	⑥D-6 計装配管(SUS304TP 10/8φ)の付属材料費率に、機械設備工事の鋼管、塩化ビニル管等付属材料費率である1.7を使用している。ステンレス鋼管の付属材料費率1.4に修正すること。	改善実施を確認
36	見積書	⑦「要求水準書、第4章工事現場発生産品および副産物、3」において「処分を得られたスクラップ費は、実績値をもって工事設計書に計上し、設計変更にて清算すること」と記載があるため、スクラップの計上先が電気工事である場合には、費目を一般管理費等の外に作成し、0計上すること。	改善実施を確認
37	要求水準書に係る技術提案書	①要求水準書「2-3設計諸元、(20)土木建築工事、5)」に「プロウ棟の主要構造部は振動性、変形性、防音性、耐腐食性、臭気対策、塩害対策を考慮し、鉄筋コンクリート造とする。」と記載があるが、提案書では鉄骨造の記載となっている。鉄骨造について、同様の立地条件や施設を鉄骨造で施工した実績を調べるとともに、課題(デメリット側に働く)の洗い出しを行い要求水準書と同等以上の内容であることを記載すること。	改善実施を確認
38	要求水準書に係る技術提案書	②比較は「鉄筋コンクリート造(RC造)、鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)、鉄骨造(S造)」を対象とする。	改善実施を確認
39	要求水準書に係る技術提案書	③比較内容は下記の通りとする。 定性比較:耐振動性、変形性(揺れ)、形状の自由度、大空間の自由度、耐火性、防音性、臭気対策、耐腐食性(耐硫化水素、塩害)、断熱性 定量比較:耐久性、自重、工期、建設費、建設費年価 耐久性についてRC造とSRC造は50年、S造は35年で行うこと。 〇%のような定量比較を行う際はRC造を100%とした場合の比較とする。	改善実施を確認
40	要求水準書に係る技術提案書	④実績表を提出すること。耐用年数を35年としていることから、35年を経過している施設の情報を含めること。 またその施設、設備使用状況の確認資料として外観写真を提出すること。	改善実施を確認
41	要求水準書に係る技術提案書	①脱水ケーキ受入供給設備について、「要求水準書2-3設計諸元(3)脱水ケーキ受入供給設備」と「6-3-5-1主要機器選定基準」において形式が異なるため、計量コンベヤを選定することの妥当性について比較検討書(定性比較+経済比較(機器費、据え付け費、メンテナンス費、年間電力費等の内訳を示すこと))を作成し添付資料に含めること。 なお、ケーキ投入機1台の最大能力として定格の100%運転が可能となる能力に修正すること。	改善実施を確認
42	要求水準書に係る技術提案書	②上記修正を踏まえてその他関連する部分についても修正すること。	改善実施を確認
43	要求水準書に係る技術提案書	③機器費等の変更が必要な場合については見積書を変更し、変更前金額を摘要欄に記載すること。	改善実施を確認
44	要求水準書に係る技術提案書	①技術提案書「7.給水設備、③4号焼却設備への送水方法」についてA系ろ過設備からろ過水を給水提案がされているが、B系ろ過設備の機能増設と比較して優位であるか比較を作成し添付すること。	改善実施を確認
45	要求水準書に係る技術提案書	①4号焼却設備の処理風量について最低風量を2m ³ /分にする。また、既設脱臭設備の実運用上問題がないことを確認し結果を記載すること。	改善実施を確認
46	要求水準書に係る技術提案書	①要求水準書「2-4撤去工事、(4)撤去範囲、1)機械設備」に記載の「撤去工事においては他工事との関係で、汚泥棟内設置の1号焼却炉搬送コンベヤを先行して、棟内の足基礎を含めて撤去工を工事2年目終わりまでに実施すること。コンベヤ壁貫通部の撤去処理、棟内の足基礎などの撤去後の仕上げ等は、監督員との協議による。」となっているが、全体工程表からは確認できなかったため記載すること。	改善実施を確認
47	落札者決定基準に係る技術提案書	①消耗品、予備品は維持費であるため、建設工事費に含めるのは不相当である。本提案において納入する旨の記載を改めること。	改善実施を確認
48	落札者決定基準に係る技術提案書	②想定していた消耗品、予備品リストを添付し、本提案に該当する費用を見積書から減額し、金額を摘要欄に記載すること。	改善実施を確認

技術提案の改善に係る過程の概要

応募者番号	JFEエンジニアリング・須山建設特定建設工事共同企業体
-------	-----------------------------

指摘No.	資料名	改善依頼事項	改善状況
49	図面集	①提出図面では、4号焼却施設のみ提示に留まっている。A系砂ろ過施設内、B系砂ろ過施設内、が不足しているので追加すること。	改善実施を確認
50	図面集	①No.1～2ろ過水増圧ポンプの吐出量について45m ³ /minとあるが、誤記である。吐出量を修正すること。	改善実施を確認
51	図面集	①要求水準書「2-1施設構成、(1)機械設備、10)」に記載の「地震対策として焼却炉に感震装置を設置し、大地震発生時には補助燃料の供給を緊急遮断するとともに、排ガス処理設備の全ダンパを全閉して排ガスの系外流出を防止できること。」と記載があるが、A重油配管上にある始動バーナーコントロールユニットへの配管上に緊急遮断弁の記載がなく、オイルラインの遮断弁が電磁弁の表現になっているため遮断弁の表記に修正すること。	改善実施を確認
52	図面集	①動力制御盤の単線結線図を提出すること。	改善実施を確認
53	図面集	①3階低圧電気室の機器名を記載すること。	改善実施を確認
54	図面集	②電気室内の動線を維持管理導線図に記載するとともに、消防法上の変圧設備として必要となる離隔距離等を確認し、必要に応じて修正すること。	改善実施を確認
55	図面集	③上記修正に伴い、関連図面を修正すること。	改善実施を確認
56	図面集	①2階高圧電気室について、高圧盤の前面に盤が配置されており、維持管理に支障があると思われるので、再度配置検討を行い必要に応じて修正すること。	改善実施を確認
57	図面集	②タービン電気室はスペースに余裕がある。高圧電気室の盤の配置に対して離隔距離が確保できていないと思われるので、再度配置検討を行い必要に応じて修正すること。	改善実施を確認
58	図面集	③電気室内の動線を別途維持管理導線図に追記すること。	改善実施を確認
59	図面集	④上記修正に伴い、関連図面を修正すること。	改善実施を確認
60	図面集	①各機器の電気消費の項目について、定格出力等に記載があるのに対し、「電気消費kWh/日」が0kWh/日と表記されている機器がある。有効桁数を合わせ、修正すること。	改善実施を確認